

墨田区押上保育園の指定管理者の指定について

1 施設の名称

墨田区押上保育園（墨田区押上二丁目10番17号）

2 指定の期間

令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（5年間）

3 指定管理者とする団体

(1) 名称

社会福祉法人雲柱社

(2) 所在地

東京都世田谷区上北沢三丁目8番19号

(3) 代表者氏名

理事長 小磯 満

(4) 沿革

昭和28年7月 法人設立

大正12年 保育所開設（後の光の園保育学校）

(5) 同種事業の実績（自治体からの受託運営等）

ア 本区での実績

昭和3年～現在 光の園保育学校（直営）

平成21年度～現在 墨田区押上保育園指定管理者

イ 他自治体での実績

認可保育所12園

4 選定経過及び選定理由

(1) 募集内容

ア 募集期間 令和4年7月8日から令和4年8月12日まで

イ 周知方法 区のお知らせ及び区のホームページに掲載

ウ 申請者数 2者

(2) 選定経過

墨田区指定管理者選定委員会において、主管部検討部会での審査を経た2者について、申請書類等に基づき、評価項目である①利用者サービスの向上、②効率的・効果的な施設の運営、③事業計画の遂行能力の3項目に関する審査を行った。

(3) 選定理由

審査の結果、選定団体は、評価項目の評価の合計点が設定した水準を超え、申請者の中で最高得点であったことから、墨田区押上保育園の設置目的を効果的・効率的に実現することが期待できるため選定した。

5 事業計画の要点

(1) 管理運営の方針

墨田区押上保育園の設置目的及び指定管理者制度の趣旨を踏まえ、以下の3つの運営方針を定めている。

①利用者の安心と安全に配慮した維持管理

②施設の不具合等に関しては速やかな修理、メンテナンスを行う。

③施設に関しての大規模修繕が必要とされる場合は、区へ修繕箇所の報告と相談を細やかに行う。

(2) 主な提案内容

ア 利用者サービスの向上に関する提案

- (ア) 障害の有無、性別、国籍、家庭環境などに拘わらず、人格を尊重し、平等な関わりをする。
- (イ) 災害時訓練の際に地域消防団の方と連携した災害訓練を行う。また、地域の福祉施設（児童館、高齢者施設等）と交流、地域連携を深めていく。
- (ウ) 外国人講師と遊びながら英語に触れる取組、世界の昆虫を見て・触れる体験を行い、飼育を通して命あるものとの関わりを学ぶ取組、あそびうた作家を招いて、楽しく音楽に触れる機会を作る取組を行う。
- (エ) 地域活動を積極的に計画し、地域の子育て世代と保育園のつながりを多く持つようにしていく。
- (オ) 園からの連絡や日頃の園児の様子が保護者に伝わりやすくなるよう、ICT機能を積極的に取り入れる。

イ 効率的・効果的な施設の運営に関する提案

- (ア) 指定管理料（提案額）：254,300,000円
- (イ) 保育士養成校とのつながりを大事にし、人材育成及び人材確保がスムーズに行なわれるよう連携し、採用に係るコストを省いていく。
- (ウ) シルバー人材センターの活用やボランティアを育成していく。
- (エ) 職員の雇用については、区内在住の方々を最優先するほか、給食食材の購入業者は、可能な限り区内の業者を利用する。
- (オ) 高齢者支援総合センターや小学校との交流を行う。また、区内にある同法人の学童クラブや児童館との交流を行う。

ウ 事業計画の遂行能力に関する提案

- (ア) 保育士数は園長を含め、27人配置する（うち常勤職員27人）。保育補助（非常勤）を9人配置する。園長予定者の経験年数は20年である。
- (イ) 法人研修は、非常勤、臨時職員を含め、OJTを中心としてOFF-JTや目標管理シートへつなげていく体系的な展開を行う。非常勤職員、臨時職員も同様である。
- (ウ) 安全チェックリストを用いた事故防止の徹底、安全委員会の定期的な開催のほか、ヒヤリハットの提出を増やし、事故を未然に防ぐ取組を行う。
- (エ) 消防計画に基づく定期的な避難訓練の実施、保護者と共同の災害時対応訓練の実施、Jアラート発令時の対応訓練の実施等を行う。

審査結果

11名の委員が評価し、その合計点により審査を行った。

評価項目（配点）	得点	
	社会福祉法人 雲柱社	B
1 利用者サービスの向上（32点×11人＝352点）	257点	181点
(1) 利用者にとって平等に利用できる環境が整えられているか （6点×11人＝66点）	48点	34点
(2) 施設の設置目的を達成するための事業計画となっているか （6点×11人＝66点）	50点	33点
(3) 利用者サービスの向上につながる独自の提案があり、実現が可能か （8点×11人＝88点）	59点	46点
(4) 利用者の要望・意見等を聴くための手段と業務改善の取組があるか （6点×11人＝66点）	52点	33点
(5) 在園児の保護者や地域の子育て家庭に対する支援に取り組んでいるか （6点×11人＝66点）	48点	35点
2 効率的・効果的な施設の運営（30点×11人＝330点）	238点	137点
(1) 施設の設置目的を踏まえた管理・運営方針となっているか （6点×11人＝66点）	47点	25点
(2) 施設の維持管理経費を節減するための積極的な取組があるか （6点×11人＝66点）	52点	28点
(3) 提案額は、事業計画を実現するための適正な額となっているか （6点×11人＝66点）	39点	33点
(4) 区民の雇用や区内企業の活用を図る取組があるか （6点×11人＝66点）	47点	26点
(5) 地域特性に合った保育の運営が期待できるか （6点×11人＝66点）	53点	25点
3 事業計画の遂行能力（38点×11人＝418点）	300点	194点
(1) 経営状況及び財政基盤は安定しているか （6点×11人＝66点）	52点	34点
(2) 職員構成、職員数及び組織の管理・運営体制は適切か （6点×11人＝66点）	47点	35点
(3) 管理責任者及び職員の資格や経験は適切であり、職員のスキルアップに向けた取組は十分か （8点×11人＝88点）	55点	39点
(4) 個人情報保護の徹底及び積極的な情報公開を行う計画となっているか （6点×11人＝66点）	46点	27点
(5) 災害その他緊急時の危機管理体制及び苦情処理体制は明確か （6点×11人＝66点）	48点	30点
(6) 同種事業に関する本区での実績の有無、他の自治体での実績の有無 （6点×11人＝66点）	52点	29点
合計（100点×11人＝1100点）	795点	512点

墨田区押上保育園 指定管理者 申請者提案概要

項目		社会福祉法人 雲柱社	B
1 利用者サービスの向上	(1) 利用者にとって平等に利用できる環境が整えられているか	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の有無、性別、国籍、家庭環境などに拘わらず、人格を尊重し、平等な関わりをする（障害児保育の実施）。 ・個々の状態に配慮したアレルギー対応と代替食の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーマライゼーションの考え方を尊重しながら、障がいを持つ子どもと持たない子どもが平等に生活することができるように体制を整えていく。
	(2) 施設の設置目的を達成するための事業計画となっているか	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の福祉施設と交流、地域連携を深めていく（児童館、高齢者施設等、災害時訓練の際に地域消防団の方と連携した災害訓練を行うなど）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの向上を目的として、法人ノウハウを活用してよりよいものに繋げていく。
	(3) 利用者サービスの向上につながる独自の提案があり、実現が可能か	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人講師と遊びながら英語に触れる取組、世界の昆虫を見て・触れる体験を行い、飼育を通して命あるものとの関わりを学ぶ取組、あそびうた作家を招いて、楽しく音楽に触れる機会を作る取組を行う。 ・園からの連絡や日頃の園児の様子が保護者に伝わりやすくなるよう、ICT機能を積極的に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向け給食の提供 ・離乳食教室 ・保護者向け試食会 ・おさがり交換会
	(4) 利用者の要望・意見等を聴くための手段と業務改善の取組があるか	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な保護者会や懇談会の開催 ・第三者評価におけるアンケート実施 ・意見や苦情に対する園全体での共有化及び改善策の検討。内容によっては行政や法人、また園が契約している危機管理アドバイザーと協議し対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な保護者会や懇談会の開催 ・第三者評価の受審
	(5) 在園児の保護者や地域の子育て家庭に対する支援に取り組んでいるか	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育て支援を対象にした子育て安心ステーション（地域活動）を積極的に計画し、地域の子育て世代と保育園の繋がりを多くもてるようにしていく。 ・卒園した子ども達の育ちを援助する観点から「一年生の会」を行っていく。 ・児童館での子育てひろば支援や講演、相談実施への協力とともに日頃から情報交換と共有に努めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の様子はドキュメンテーションを使って伝えていく。 ・離乳食試食会をはじめ、育児相談や家庭の問題など、いつでも耳を傾けられるように、日々の関わりからの会話を大切にしている。
2 効率的・効果的な施設の運営	(1) 施設の設置目的を踏まえた管理・運営方針となっているか	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安心と安全に配慮した維持管理 ・施設の不具合等に関しては速やかな修理、メンテナンスをしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス向上を目的として、法人ノウハウを活用してよりよいものに繋げていきたい。
	(2) 施設の維持管理経費を節減するための積極的な取組があるか	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士養成校との繋がりを強め、人材育成並びに人材確保がスムーズに行なわれるよう連携し、派遣会社等へのコストを省いていく。 ・シルバー人材センターの活用やボランティアを育成していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費について、採用コストをいかに抑えて、今いる職員を効率的に配置するかという点を考える必要がある。給与面では待遇が上げられないとしても、保育士に対するキャリアパスを提示し、多様な働き方を提案していく。 ・折り紙や色紙、掃除用品などの消耗品に係る経費を削減するため、ネット通販を活用する。
	(3) 提案額は、事業計画を実現するための適正な額となっているか	指定管理料（提案額）254,300,000円	指定管理料（提案額）254,300,000円
	(4) 区民の雇用や区内企業の活用を図る取組があるか	<ul style="list-style-type: none"> ・給食食材の購入業者は、可能な限り区内の業者を利用している。 ・職員の雇用については、区内在住の方を最優先する。 ・パート職員は、出来るだけ区内在住の方を優先する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にその地域の方を雇用し、保育園を地域に開放することで、信頼を得ることができると考える。
	(5) 地域特性に合った保育の運営が期待できるか	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者支援総合センターや小学校との交流。また、区内にある同法人の学童クラブや児童館との交流をもつ。 ・児童館、保育園職員との合同研修などを通して培ってきた、継続的で切れ目のない保育を目指して、子どもの成長のサポートをしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共同計画した行事の実施 ・年間を通じて関わりが持てる企画の提案
3 事業計画の遂行能力	(1) 経営状況及び財政基盤は安定しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス活動収益 令和3年度：7,762,794千円、令和2年度：7,597,515千円 ・サービス活動増減差額 令和3年度：143,585千円、令和2年度：295,554千円 ・経常増減差額 令和3年度：152,508千円、令和2年度：304,029千円 ・流動比率 令和3年度：226.8%、令和2年度：210.1% ・固定長期適合率 令和3年度：83.9%、令和2年度：85.8% ・自己資本比率 令和3年度：78.3%、令和2年度：78.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ・売上 令和3年度：1,647,887千円 令和2年度：1,645,062千円 ・営業利益 令和3年度：-74,975千円、令和2年度：-5,324千円 ・経常利益 令和3年度：-73,533千円、令和2年度：21千円 ・流動比率 令和3年度：200.8%、令和2年度：805.0% ・固定長期適合率 令和3年度：86.4%、令和2年度：80.4% ・自己資本比率 令和3年度：85.0%、令和2年度：93.7%
	(2) 職員構成、職員数及び組織の管理・運営体制は適切か	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士数は園長を含め、27人配置する（うち常勤職員27人）。 ・保育補助（非常勤）を9人配置する。 ・看護師（常勤）を1人配置する。 ・事務員（常勤）を1人配置する。 ・用務員（非常勤）を2人配置する。 計40人	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士数は園長を含め、27人配置する（うち常勤職員23人）。 ・看護師（常勤）を1人配置する。 ・事務員（非常勤）を1人配置する。 ・その他（非常勤）を14人配置する。 計43人
	(3) 管理責任者及び職員の資格や経験は適切であり、職員のスキルアップに向けた取組は十分か	<ul style="list-style-type: none"> ・園長予定者の経験年数は20年である。 ・副園長予定者の経験年数は24年である。 ・外部研修、法人内の職種別、経験別の研修 ・法人研修は、非常勤、臨時職員を含め、OJTを中心としてOFF-JTや目標管理シートへ繋げていく体系的な展開を行っている。非常勤職員、臨時職員も同様 	<ul style="list-style-type: none"> ・園長予定者の経験年数は35年である。 ・副園長予定者の経験年数は不明（職員配置未定のため） ・職員の主体性を尊重し、希望する研修や必要と思われる研修に積極的に参加させる。東京都キャリアアップ研修を積極的に受講させる。

墨田区押上保育園 指定管理者 申請者提案概要

項目	社会福祉法人 雲柱社	B
(4) 個人情報保護の徹底及び積極的な情報公開を行う計画となっているか	<p>(個人情報)</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員は、墨田区個人情報保護条例及び当法人の「個人情報保護規程」を理解し、在職中も退職後も個人情報に関することを他に漏らさないよう、誓約書を提出している。 <p>(情報公開)</p> <ul style="list-style-type: none"> 墨田区情報公開条例及び法人の「情報公開・開示規程」に従い対応していく。 	<p>(個人情報)</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護規程に則り対応 <p>(情報公開)</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者の安心に資するものと考え様々な媒体を使って公開していく。
(5) 災害その他緊急時の危機管理体制及び苦情処理体制は明確か	<p>(災害対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防計画に基づく定期的な避難訓練の実施 安全チェックリストを用いた点検及び早期改善 保護者と共同の災害時訓練の実施 Jアラート発令時の対応訓練 <p>(安全対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全委員会の定期的開催（危機管理リーダー、園長等） ヒヤリハットの提出を増やし、事故を未然に防ぐ。 <p>(苦情処理体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> 苦情があった場合は、当法人の「福祉サービスに対する苦情対応の仕組み」に従って誠実に対応し問題解決を行う。 	<p>(災害対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> 墨田区版の危機管理マニュアルを作成し運用する。 地域の防災拠点の役割を果たす。 <p>(苦情処理体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> 苦情解決責任者、苦情受付担当者及び第三者委員を設置し苦情解決に努める。
(6) 同種事業に関する本区での実績の有無、他の自治体での実績の有無	<p>【墨田区】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認可保育所 1 園 墨田区押上保育園 <p>平成 21 年～ 指定管理者として運営</p> <p>【他自治体】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認可保育所 1 2 園 	<p>【墨田区】</p> <p>なし</p> <p>【他自治体】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認可保育所 2 園